

にっぽんこうぎょうだいがく
日本工業大学

1 講座名・キャンパス

(1) 講座名

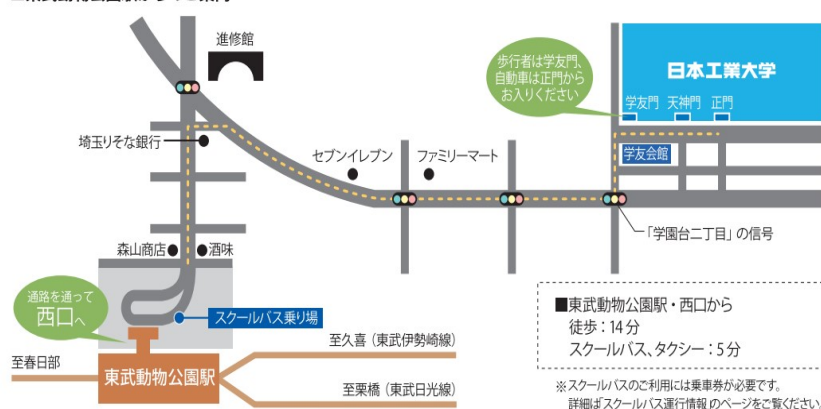
科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
環境とエネルギー	秋学期 (令和7年9月～ 令和8年1月)	水	1限	9:00～10:40	10名
音響・画像処理		木	2限	10:50～12:30	10名
電力発生技術		月	3限	13:20～15:00	10名
感性情報工学		水	3限	13:20～15:00	10名
世界遺産とアジアの建築		木	1限	9:00～10:40	10名
ライフスタイルと住空間		金	1限	9:00～10:40	10名

*この実施予定は6月20日現在のものです。社会情勢や諸般の事情により、変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

*本学の上記講座のお申し込みにあたっては、本学 [生涯学習センターホームページ](#) に掲載する「令和7年度秋学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

(2) キャンパス

■東武動物公園駅からのご案内



■新白岡駅乗車場所



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

JR宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 *スクールバス料金：100円/片道

スクールバスの運行情報・ご利用につきましては

[スクールバス運行情報・乗り場案内](#) | [実工学教育の日本工業大学 \(nit.ac.jp\)](#) をご確認ください。

2 受講料・テキスト

- (1) 受講料 : 1 科目につき 10,000 円
 (2) その他 : 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます(書名、購入方法等は別途ご案内します)。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 **令和 7 年 8 月 29 日 (金)** (消印有効)

- (2) 申込先

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
 日本工業大学 生涯学習センター
 電話 : 0480-34-4111 (代表)
 E-mail: shougai@nit.ac.jp

- (3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail または官製はがきでお申込みください。
 (電話での受付はしていません)

- ① 〒 住所 ② 氏名 (ふりがな) ③ 年齢
 ④ 電話番号 ⑤ 受講希望科目 (複教科目の選択可)

- (4) 受講手続

受講お申込を確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。
 この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

- (5) その他

本学が開講する開放授業講座を、今年度秋学期(後期)から新たに受講される方におかれましては、第1回講義に先立ち、受講いただくにあたっての諸説明を目的としたオリエンテーションを開催します。日時等の詳細は、受講手続をいただいた方へ個別に連絡いたします。

4 各科目の概要及び担当教員

科目名 (担当)	授業科目の概要
環境とエネルギー (丹澤 祥晃 教授)	太陽光、地熱、風力発電やバイオマス利用、LED照明、レアメタル、電気自動車、電池、住宅などのエネルギー・環境技術を知り、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解する。また、これらに関する課題レポートによって、説明能力を身につける。
音響・画像処理 (木許 雅則 教授)	インターネットをはじめとする通信ネットワーク、PC やスマホなどのマルチメディア機器では、取り扱われるデータは全てデジタル化されている。本科目では、それらの主要な要素である「音」と「画像」を対象として、デジタル化の手法・利点やその応用技術について学ぶ。

電力発生技術 (竹本 泰敏 助教)	電力の発生から消費までの発電所、電気所、送電線路などの設備が結合されたシステムである電力系統のうち、電力の発生（発電）、変電について学ぶ。発電では、おもな発電種別である、水力、火力、原子力を中心に学習する。 また近年、系統導入量が拡大している再生可能エネルギー（太陽光、風力）の原理と系統連系時の課題についても講義する。
感性情報工学 (高津 洋貴 准教授)	ヒトの感性についての計測方法や解析方法を理解し、製品の開発や評価に応用できるようになることを到達目標とする。 この科目はマンマシンインターフェースの開発において、ユーザーの感性を定量的に評価し、応用する思考を身につけるものである。実験方法や解析方法なども含め、総合的な理解を行なう。
世界遺産とアジアの建築 (樋口 諒 准教授)	世界遺産とアジアの建築についての知識・理解を深めることを目的とする。アジアの歴史的建造物を主な対象とし、風土と建築の関係性、多様な建築の保存修復の事例、さらには建築遺産を受け継ぎ現在に活かす意義を学び、その理念とともに具体的な手法に関する専門知識を習得する。
ライフスタイルと住空間 (古賀 繭子 准教授)	現代の住空間の原型がいかに形成されてきたか、また、多様化するライフスタイルに応じてどのような住空間が出現しているかを社会的・文化的な文脈を通じて分析的に理解する。また、そのことを通じて、身の回りの住空間を分析的に捉える視点を身につける。